

第39回市民体育祭「地区対抗大運動会」開催要項

- 趣 旨／ 松江市民誰もが、生涯にわたって明るく豊かな生活をおくるため、スポーツが果たす役割は大変大きいものがある。このため、幅広い年代の地域住民が一堂に会し、地域の代表として競技に参加し、また選手を応援することで市民がスポーツに親しみ、地域の親睦を図ることを目的に市民体育祭「地区対抗大運動会」を開催するもの。
- 主 催／松江市・松江市教育委員会・(公財)松江体育協会、第39回市民体育祭「地区対抗大運動会」実行委員会
- 主 管／(予定)松江市地域体育協会連合会・松江市陸上競技協会・松江市スポーツ推進委員協議会
- 後 援／(予定)松江市公民館運営協議会連合会・松江市町内会自治会連合会・松江市レクリエーション団体連合会
- 日 時／令和6年10月6日(日)少雨決行 予備日なし
- 場 所／松江市営陸上競技場(松江市上乃木10—4—1)

参加資格及び参加制限／

- (1)参加する地域体育協会の該当する地区に住んでいること。
- (2)選手については、地域体育協会、自治会連合会、公民館長の推薦した選手であること。
- (3)年齢は令和6年10月1日現在の満年齢とする。
- (4)出場種目は別紙のプログラムのとおりとする。
- (5)種目の年齢制限は設けないものとする(混成リレーを除く)。ただし、選手の選出は各地区で安全面を考慮して行うこと。
- (6)参加種目数の制限は設けないこととする。(ただし、連続出場は原則不可)

競技方法／

1. 原則Aブロック(大規模)・Bブロック(小規模)別の地域体協対抗とする。ただし、綱引き及び混成リレーについては下記のとおり別にルールを定めることとする。
Aブロック…川津・乃木・津田・古志原・東出雲・法吉・城西・城東・大庭・城北・宍道・玉湯・竹矢・八雲・鹿島(15)
Bブロック…雑賀・朝日・美保関・古江・持田・生馬・八束・白潟・島根・本庄・忌部・朝酌・秋鹿・大野(14)
綱引きはAブロック・Bブロックを混合したチームを結成して行う。組み合わせは世帯数のバランスに基づき、事務局により決定する。
混成リレーはオープン種目とし、参加体協すべてのタイムレースとする。
2. スパイクシューズ(サッカーシューズなどのポイントも含む)の使用は禁止する。
3. 選手は必ず地区名を明示したものを胸部につけること。
4. 各種目のアンカーは腰ナンバーカードをつけること。(腰ナンバーカードは本部で用意する)
5. 選手変更については報告を要しないが、各地区の責任において各種目の参加資格要件等を確認のうえ、選手を選出すること。
6. 各種目の招集時刻はその種目開始の30分前とする。
7. 抗議は監督に限り許可する。また、抗議は種目の結果発表後20分以内を有効とする。

8. 選手以外の競技場への立ち入りを禁止する。
9. 参加中の偶然な事故を原因とした傷害により入院または通院した場合等については、松江市民総合災害補償規則に定めるところにより補償する(全国市長会市民総合賠償補償保険)。

表彰及び得点／

(1)表 彰

1. (総 合) ブロック別に合計得点によって総合順位を決定する。同点の場合は、1位の数の多さ(なお同点の場合は2位の数以下…それでも同点の場合は、ブロック分けをする基礎となる世帯数が少ないチームをより上位とする)で決定する。各ブロック3位まで表彰する。
2. (種目別) 各ブロック3位まで表彰する。
綱引きは勝利チームを表彰する。
3. 混成リレー(オープン競技)は参加体協すべての中から、総合タイムが1位の地区を特別表彰する。

(2)得 点

通常の種目は1位(10点)2位(8点)3位(6点)4位(4点)5位(3点)6位(2点)7位(1点)8位(1点)とする。
綱引きは、勝ちチーム内の地域体協にそれぞれ10点、負けチーム内の地域体協にそれぞれ5点とする。
混成リレーは、オープン競技とし、総合得点には加算されないこととする。